

第 22 回「はがき歌」全国コンテスト

応募状況

- ・募集期間 平成 29 年 7 月 1 日～11 月 2 日
- ・応募総数 7,425 首 (一般部門 5,915 首、特別部門 1,510 首)
- ・47 都道府県および海外 (米国在住日本人から両部門に各 1 首)

一次審査

- ・審査期間 平成 28 年 12 月 1 日～12 月 31 日
- ・審査員 松山歌人会 副会長 高橋 淑子
松山歌人会 副会長 河村 昭夫
松山歌人会 理事 井上 弘
松山歌人会 理事 古角 明子

二次審査

- ・審査期間 平成 28 年 12 月 30 日～平成 29 年 1 月 30 日
- ・審査員 坪内 稔典 審査委員長 (俳人・佛教大学名誉教授)
永田 紅 (歌人)
吉田 類 (酒場詩人)
尾形 冴子 (松山歌人会会長)
竹田 美喜 (松山市立子規記念博物館館長)

最終審査会

- ・審査期間 平成 29 年 2 月 5 日
- ・審査員 坪内 稔典 審査委員長 (俳人・佛教大学名誉教授)
永田 紅 (歌人)
吉田 類 (酒場詩人)
尾形 冴子 (松山歌人会会長)
竹田 美喜 (松山市立子規記念博物館館長)

入賞

【一般部門】	優秀賞 (松山市長賞)	賞状・旅行券 5 万円
	優秀賞 (松山市教育長賞)	賞状・旅行券 3 万円
	特別賞 (愛媛県知事賞)	賞状・記念品
	特別賞 (日本郵便株式会社四国支社長賞)	賞状・記念品
	審査員特別賞 5 点	賞状・記念品
	佳作 100 点	賞状
【特別部門】	「幽霊」大賞 2 点	賞状・記念品
	「幽霊」賞 31 点	賞状

入賞…142 賞 142 作品 その他…(秀作) 118 作品 計 260 作品

※入賞作品、受賞者一覧は別紙をご参照ください。

【一般部門】

《松山市長賞》

帰省した孫へ——

帰省して窓に指紋を残す君ピカソのようなもみじの宇宙

北海道北斗市 青木 弘子 59歳

《松山市教育長賞》

男子へ——

「女子になりてー」っていつも言ってるけど女子の世界は怖いんよ

愛媛県 済美平成中等教育学校 好永 純堇 13歳

《愛媛県知事賞》

しきさんへ——

しきさんといっしょにのみたいへちま水わたしもせきでて夜くるしい

松山市立清水小学校 高山 結衣 8歳

《日本郵便株式会社四国支社長賞》

九十六で亡くなった祖母へ——

捨てられず使いもせずにぞうきんを眺めていますふぞろいの縫い目

青森県八戸市 和井田 勢津 65歳

《審査員特別賞》

亡くなった父へ——

ここにあるただころがってここにある柿と蜜柑とポンカン三つ

大阪府枚方市 川井 惠津子 67歳

夫へ——

人ごみをかきわけおくれる人を二階の喫茶で見るのが好きでした

奈良県北葛城郡 田中 敏子 69歳

九十二歳の母へ——

老いし母冬の小部屋の景となり針とるもよし転た寝(うたたね)もよし

長野県諏訪郡 植松 昌弘 66歳

亡くなったひいおばあちゃんへ——

「待っててね元気になるけん」って言ったからお手玉今も机の中だよ

愛媛県 済美平成中等教育学校 山崎 優雅 14歳

喧嘩した孫へ——

ああええわ静かでええわゆっくりとテレビ見えるし昼寝もできる

徳島県阿南市 坂東 典子 68歳

【特別部門】 《「幽霊」大賞》

こわくないゆうれいさんへ——

ゆうれいはひいじいちゃんめじるしはひろいせなかとポマードのにおい

千葉県山武郡 小室妃那乃 7歳

種田山頭火の幽霊さんへ——

まだ旅を自由気ままにしていますね一草庵にうたた寝のまま

兵庫県明石市 小田 虎賢 28歳